

## 第 702 回 化学・物質工学セミナー開催のお知らせ

この度、高分子化学分野で活躍されている 4 名の先生方による講演会を企画しました。教職員、学生各位の専門分野の講演はもちろん、専門以外の講演にもご参集いただき、ご討論いただければ幸いです。

日時 平成 30 年 12 月 8 日 (土)

場所 長崎大学総合教育研究棟 109 講義室

講演 1 13:05~14:00

「高分子反応をトリガーとする易解体性接着材料設計」

(大阪市大) 佐藤絵理子

高分子リサイクルを考える上で、高分子成形品をどのように回収し解体するかは非常に大きな課題です。本講演では、高分子反応をトリガーとして簡単に解体できる接着技術についてお話いただきます。

講演 2 14:05~15:00

「3D ゲルプリンティング研究から仕掛けるやわらかものづくり革命」

(山形大) 古川英光

3D プリンターの普及によって、プラスチックで複雑な加工品を作れるようになりました。本公演では、3D プリンティング技術のゲルへの応用についてお話しいたきます。これにより、人工血管のような生体適合性ポリマー加工品の開発が可能になります。

講演 3 15:05~16:00

「動的共有結合を組み込んで高分子を機能化する」

(東工大) 大塚英幸

可逆な結合を利用することでポリマー主鎖の組み替えが可能になり、非相溶のポリマー同士が繰り返しつながって相溶したり、形状の異なるポリマーへの変換が可能になったりします。この可逆な結合を動的共有結合と呼んでいます。本公演では、動的共有結合を利用した機能性ポリマー設計についてお話しいたきます。

講演 4 16:05~17:00

「無機ナノ粒子とゴム粒子の複合化による機能発現」

(長岡技科大) 河原成元

天然ゴムは様々な場所で使われている汎用性エラストマーです。天然ゴムはゴム粒子から形成されており、このゴム粒子が機能化の鍵を握っています。本講演では、無機ナノ粒子との複合化による天然ゴムの機能化についてお話しいたきます。

セミナーオーガナイザー  
長崎大学大学院工学研究科  
村上裕人 (内線: 2688)